

👉 知っていますか?

温暖化って・・・?

大気に含まれるCO₂(二酸化炭素)などの温室効果ガスが、海や陸などの地球の表面から地球の外に向かう熱を大気に蓄積し、再び地球の表面に戻ってしまう性質(=温室効果)により、地球規模で気温が上昇してしまうことをいいます。

地球温暖化は海面上昇による浸水被害、水資源不足、森林消失の危険、生態系の変化、農作物の被害など、そのすべてが深刻な問題となっています。

CO₂(二酸化炭素)の排出源って・・・?

日本全体で排出されている内の約1割が自家用乗用車によるものです。

マイカーの燃費って・・・?

例えば・・・年間走行距離1万km・燃費10km/ℓの場合

10%燃費が向上すれば、ガソリン代は約9%削減でき、

20%燃費が向上すれば、ガソリン代は約17%削減できます。

燃費を知る最もポピュラーな方法は「走行距離」を「給油量」で割ること。これを満タン法といいます。車に付いている車載燃費計と給油時の満タン法の両方の数値を知っておくようにしましょう!

安全運転にもつながり、地球にもお財布にもやさしいエコドライブ。一人ひとりの心がけによって地球温暖化対策を! 今日からあなたもエコドライブで快適カーライフを過ごしましょう!

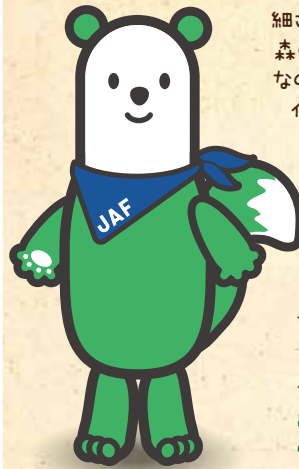
そういう訳で・・・
エコドライブをよろしく
お願いします。



エコてんくん。とその仲間

プロフィール紹介

エコてんくん。の森の仲間たちは、環境の変化に敏感なため、少しでも自然が冒されると生活できなくなってしまいます。近頃では随分気候も変化して、森の環境が悪化し、森での生活も辛くなってきました。そこで、エコロジーの大切さ、自然の繊細さを街の人たちによく理解してもらおうと、森の特使として選ばれたのがエコてんくん。なのです。環境問題の中でも特に自動車を作り出す二酸化炭素の排出量に着目して、車の使い方を工夫してもらい、森と街が仲良く共存できればいいなと考えました。そして「エコドライブ」という素敵な生き方を知ったエコてんくん。は、街のドライバーに実践してもらおうと「エコドライブ10のすすめ」を街のみんなに知ってもらおうと心に誓ったのです。



名前: **エコてんくん。**

出身: 森

性格: おっとり・真面目

趣味: 環境問題について考える事

イタ千のイダてんくん。はエコてんくん。の親戚筋。それ以上にエコてんくん。を親友と慕っている。そのため、クルマの運転も今までは勝手気ままにドライブしていたが、エコてんくん。に触発されて「エコドライブ」の実践を心掛けている。だけれども、なかなか上手にできないので思い悩んでいる今日この頃です。がんばれイダてんくん。!



名前: **イダてんくん。**

出身: 大都市

性格: せっかち・おちょこちよい

趣味: エコドライブを勉強すること

エコドライブ 10のすすめ

エコてんくん。と学ぼう!



JAF

エコドライブ 10のすすめ

エコてんくん。と学ぼう!



その1 自分の燃費を把握しよう

自分の車の燃費を把握することを習慣にしましょう。日々の燃費を把握すると、自分のエコドライブ効果が実感できます。車に装備されている燃費計・エコドライブナビゲーション・インターネットでの燃費管理などのエコドライブ支援機能を使うと便利です。



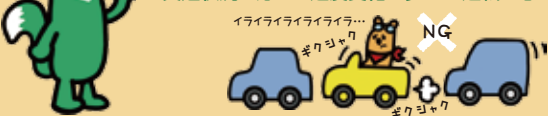
その2 ふんわりアクセル「eスタート」

発進するときは、穏やかにアクセルを踏んで発進しましょう(最初の5秒で、時速20km程度が目安です)。日々の運転において、やさしい発進を心がけるだけで、10%程度燃費が改善します。焦らず、穏やかな発進は、安全運転にもつながります。



その3 車間距離にゆとりをもって、加速・減速の少ない運転

これ大事!! 走行中は、一定の速度で走ることを心がけましょう。車間距離が短くなると、ムダな加速・減速の機会が多くなり、市街地では2%程度、郊外では6%程度も燃費が悪化します。交通状況に応じて速度変化の少ない運転を心がけましょう。



その4 減速時は早めにアクセルを離そう

信号が変わるなど停止することがわかったら、早めにアクセルから足を離しましょう。そうするとエンジンブレーキが作動し、2%程度燃費が改善します。また、減速するときや坂道を下るときにもエンジンブレーキを活用しましょう。



その5 エアコンの使用は適切に

車のエアコン(A/C)は車内を冷却・除湿する機能です。暖房のみ必要なときは、エアコンスイッチをOFFにしましょう。たとえば、車内の温度設定を外気と同じ25℃に設定した場合、エアコンスイッチをONにしたままだと12%程度燃費が悪化します。また、冷房が必要なときでも、車内を冷やしすぎないようにしましょう。



その6 ムダなアイドリングはやめよう

待ち合わせや荷物の積み下ろしなどによる駐車の際は、アイドリングはやめましょう(※1)。10分間のアイドリング(エアコンOFFの場合)で、130cc程度の燃料を消費します。また、現在の乗用車では基本的に暖機運転は不要です(※2)。エンジンをかけたらずぐに出発しましょう。



その7 渋滞を避け、余裕をもって出発しよう

出かける前に、渋滞・交通規制などの道路交通情報や、地図・カーナビなどを活用して、行き先やルートをおらかじめ確認しましょう。たとえば、1時間のドライブで道に迷い、10分間余計に走行すると17%程度燃料消費量が増加します。さらに、出発後も道路交通情報をチェックして渋滞を避ければ燃費と時間の節約になります。



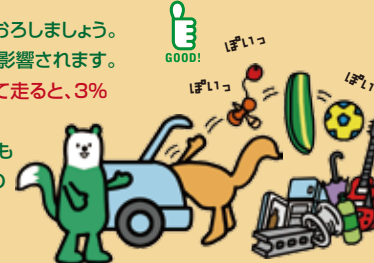
その8 タイヤの空気圧から始める点検・整備

タイヤの空気圧チェックを習慣づけましょう(※3)。タイヤの空気圧が適正値より不足すると、市街地で2%程度、郊外で4%程度燃費が悪化します(※4)。また、エンジンオイル・オイルフィルター・エアクリナーエレメントなどの定期的な交換によっても燃費が改善します。



その9 不要な荷物はおろそう

運ぶ必要のない荷物は車からおろしましょう。車の燃費は、荷物の重さに大きく影響されます。たとえば、100kgの荷物を載せて走ると、3%程度も燃費が悪化します。また、車の燃費は、空気抵抗にも敏感です。スキーキャリアなどの外装品は、使用しないときには外しましょう。



その10 走行の妨げとなる駐車はやめよう

迷惑駐車はやめましょう。交差点付近などの交通の妨げになる場所での駐車は、渋滞をもたらします。迷惑駐車は、他の車の燃費を悪化させるばかりか、交通事故の原因にもなります。迷惑駐車車の少ない道路では、平均速度が向上し、燃費の悪化を防ぎます。



※1: 交差点で自らエンジンを止める手動アイドリングストップは、以下の点で安全性に問題があるため注意しましょう。(自動アイドリングストップ機能搭載車は問題ありません。)
●手動アイドリングストップ中に何度かブレーキを踏むとブレーキの効きが悪くなります。
●慣れないと誤動作や発進遅れが生じます。またバッテリーなどの部品寿命の低下によりエンジンが再始動しない場合があります。
●エアバッグなどの安全装置や方向指示器などが作動しないため、先頭車兩付近や坂道での手動アイドリングストップは避けましょう。
※2: -20℃程度の極寒冷地など特別な状況を除き、走りながら暖めるウォームアップ走行で充分です。
※3: タイヤの空気圧は1ヶ月で5%程度低下します。
※4: 適正値より50kPa(0.5kg/cm²)不足した場合。



エコドライブのヒント



その1



ハイブリッド車や電気自動車のエコドライブ運転のコツは、モーターをできるだけ活用すること。

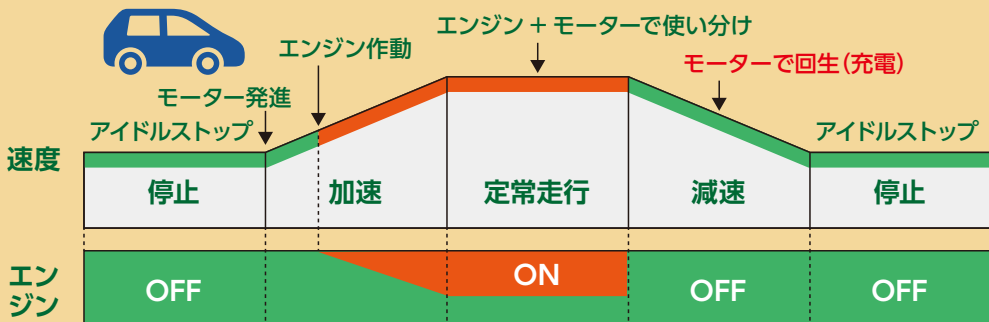
エコカーや、燃費の良いクルマを選びましょう。

●発進と加速はモーターの得意分野 (ハイブリッド車のみ)

クルマは発進時に多くガソリンを消費します。できるだけエンジンを使わずに、モーターの力で穏やかに発進し、エンジンが作動したら目的速度までモーターの力も活かして穏やかに加速。一定速度になったら、できるだけムダな加速や減速をしないよう心がけましょう。アクセルを緩めてできるだけモーターのみで走行することで燃費が良くなります。

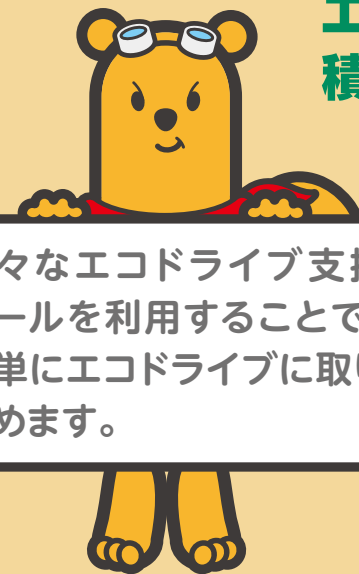
●ブレーキは発電のチャンス

減速時に前方の状況に注意して、早めにアクセルを戻し、長い距離をかけて穏やかに減速していくことがポイント。やさしくブレーキを踏むことでモーターで発電した電力がバッテリーに充電され、次の発進・加速時に再利用するので燃費が良くなります。



ハイブリッド車のエンジン稼働図 (できるだけエンジンがかからない運転をしましょう)

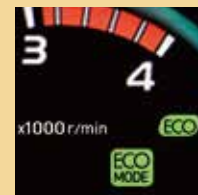
その2



様々なエコドライブ支援ツールを利用することで、簡単にエコドライブに取り組めます。

エコドライブ支援ツールを積極的に使いましょう。

①エコドライブランプ*を点灯するように運転しましょう。アクセルを徐々に踏んで運転することになり、燃費が良くなります。



②エコドライブスイッチ*をONにしましょう。穏やかに加速するようにクルマが制御し、燃費が良くなります。

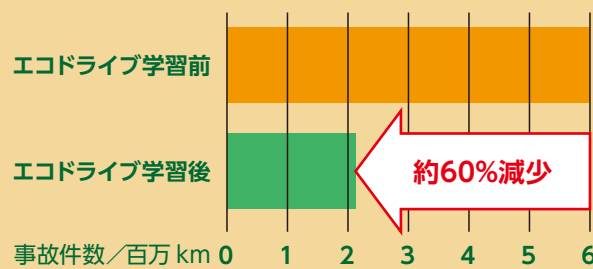


(※メーカーによって名称は異なります。)

その3

エコドライブで交通事故が減ると言われています。

穏やかに発進、穏やかに停止、十分に車間距離をとるなど、ゆとりのあるエコドライブを心がけましょう。これにより交通事故が約60%減少したという報告もあります。エコドライブでエコだけでなく安全運転にもなっ—石二鳥ですな。



エコドライブによる交通事故減少の例

